

千葉市立青葉病院 診療科別臨床研修プログラム 地域医療

I. 研修プログラムの目的および特徴

地域医療研修の主たる目的は、当研修プログラムへ研修協力施設として登録されている市内の診療所への、最低1ヶ月間のローテーションを通じて、医療現場の最前線におけるプライマリ・ケアの実践を経験し、臨床医として必須の基本的な知識・常識を修得することにある。また状況に応じて訪問看護、在宅医療および介護福祉施設等の現場の経験も組み入れる。研修医の希望によって、地域の診療所へのローテーションを組み込み、病院での医療にとどまらず真のプライマリーケアを理解し、広い視野をもって診療にあたる臨床医の育成を目指す。

II. 研修内容

1. 研修施設

研修施設については、別記のとおりである。

2. 研修プログラムの管理・運営

診療所での研修については青葉病院研修管理委員会がプログラムの管理運営にあたる。

III. 到達目標

1. 一般目標

- (1) 医療の持つ社会的側面の重要性を理解し、社会に貢献する。
- (2) 患者を全人的に理解し、患者・家族と良好な人間関係を確立する。
- (3) 医療チームの構成員としての役割を理解し、保健・医療・福祉の幅広い職種からなる他のメンバーと協調する。
- (4) 患者の問題を把握し、問題対応型の思考を行い、生涯に渡る自己学習の習慣を身につける。
- (5) 患者・家族との信頼関係を構築し、診断・治療に必要な情報が得られるような医療面接を実施する。
- (6) チーム医療の実践と自己の臨床能力向上に不可欠な、症例呈示の能力を高める。

2. 行動目標

- (1) 患者、家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握できる。
- (2) 診療のアウトカムおよび患者の満足度が最大限となる医療を心掛ける。
- (3) 他医師や他の医療従事者と適切なコミュニケーションがとれる。
- (4) 指導医や専門医に適切なタイミングでコンサルテーションができる。
- (5) 同僚および後輩への教育的配慮ができる。
- (6) 臨床上の疑問点を解決するための良質なエビデンスを効率よく収集・評価し、当該患者への適応を判断できる (EBM)。
- (7) 臨床研究の意義を理解し、研究や学会活動に関心を持つ。
- (8) 医療面接は、診療情報を集めるための最も有効な方法というだけでなく、

それ自体に治療効果も備わっていることを理解し実践できる。

- (9) 陽性所見だけでなく、関連する陰性所見を盛り込んだ適切な症例呈示ができる。
- (10) 保険医療制度を理解し適切に実行できる。

IV. 評価法

- 1. 研修プログラム終了時に、各指導医の総意に基づき指導責任者により総合評価が行われる。
- 2. 指導医により、各到達目標に対する評価が行われる。
- 3. 研修医は、各到達目標に対する自己評価表を提出する。

地域医療研修協力施設

協力施設名称	施設長	住所
千草台なかむらクリニック	中村 貢	千葉市稲毛区千草台 1-1-28-1
板谷内科クリニック	板谷 喬起	千葉市若葉区都賀 3-9-1
大久保クリニック	大久保 俊平	千葉市緑区あすみが丘 7-12-8
椎名内科医院	椎名 泰文	千葉市中央区新町 18-14
うたせメディカルクリニック	渡辺 滋	千葉市美浜区打瀬 3-4-20